

## 令和4年度 青果物販売情勢について

令和4年9月15日（木）現在

### 【 果 樹 】

#### < モ モ >

秋果実の充足により、モモの販売は限定的であるが、入荷量も少ない中で下等級中心に動きは見られる。ただし、大玉は粒単価の高さから販売苦戦中。

「さくら白桃」：15玉 特選 5,000円 特秀 4,000円 秀 3,500円

#### < ナ シ >

栃木県産の潤沢な入荷に加え、流通在庫も抱えている状況から、連休に向けた注文はあるものの厳しい販売が続く。

「豊水」：28玉 特秀 3,500円 秀 3,000円 赤秀 2,800円

### 【 野 菜 】

#### < きゅうり >

関東産は、20日前後に出荷ピークとなる見込み。

連休に向けて売り込みを強化したため、ある程度事前注文が見込まれるが、連休明けは全体量も多く荷を停滞させないように相場を弱める見通し。

@A 2,000円 ~ 1,700円

#### < ミニトマト >

千葉県産抑制作が週末から翌週前半に向けてピークを迎える見込みから、全体量は回復となる中で連休を控えていることもあり、滞荷を起こさないよう相場を下げて荷動きを促す販売となる見通し。

@AM 200円 ~ 170円

#### < さやいんげん >

福島県産の遅蒔き作の出荷ピークは過ぎるものの、抑制作が増量となる見込みから、全体量としては概ね横ばいとなるため、相場は保合の見通し。

@A 2,500円 ~ 2,000円